

## 今夏、母島列島周辺海域で出会ったイルカたち

2024年6月に、母島列島でミナミハンドウイルカの個体識別調査を行いました。今回は3日間母島列島周辺海域を調査し、7つの群れに出会うことができました(図1)。今号では、今年出会えたイルカたちの中で、母島列島周辺海域のみで確認されている個体をいくつかご紹介します。



図1. 2024年の調査における母島列島周辺でのミナミハンドウイルカの発見位置(赤星)

#377  
パツ山オス  
観察歴  
2021年～

パツ山とした形の背びれが名前の由来。右側胸びれや、尾びれの欠損も特徴的です。今回の調査でオスであることが判明しました。



2023年7月10日

#399  
ポコメス  
観察歴  
2020年～

2024年6月14日

イルカ通信119号で紹介した#362(トツ子)の子ども。昨年7月に、曲がっていることが確認された背びれの先端はちぎれてしまったようです。左側胸びれが欠けているのも特徴です。

## ミナミハンドウイルカの個体識別情報募集中!

当協会では、ミナミハンドウイルカの個体識別データを募集しています。皆さまからご提供いただく情報は、生態解明の貴重な手がかりになります。今号では、その一事例をご紹介します。

2009年から確認されている、#258(ワンスター)というオスのイルカがいます。2023年10月27日に父島周辺海域で確認されて以来、発見が途絶えていました。しかし、2024年7月14日に母島海域で撮影された提供データに、ワンスターの姿がありました。彼は2021年から2023年の3年間、父島と母島間を毎年行き来しており、今年もまた父島へ戻ってくるのか要注目です。

Bしっぷ内では、これまでに識別されたすべての個体の情報が自由に閲覧できますので、もしイルカの写真や動画が撮影できたら、ぜひ個体識別にチャレンジしにいらしてください。そして、ご協力いただける方は、ぜひデータ提供をお願いいたします!



【写真・動画データの提供方法】

QRコード、もしくはURL  
(<https://forms.gle/i4AFrZtY6ptackNR6>) から提供  
フォームにアクセスしてください。